

公表基準に基づく医療事故の包括的公表（平成24年度）

名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院

	発生年月	発生場所	事故の概略	再発防止策
1	2012年5月	MR I 検査室	V-Pシャント術施行されている患者様に、MR I 検査を実施した。直ちに、シャント術施行病院へ連絡し、シャント圧調整を依頼した。	MR I チェックリストの見直しを実施 医師・看護師・放射線技師によるトリプルチェックの徹底
2	2012年8月	病室	深夜に物音があり訪室すると座り込んでいるところを発見。床の至るところに尿汚染あり。腰痛を訴え体動困難であったため診察。MR I にて第2腰椎圧迫骨折と診断された。	患者指導（移動見守り、ナースコールの必要性）の実施 センサーマットの使用
3	2012年9月	廊下	トイレに向かっていたところ誘因なく前方に転倒。右上腕部と右頬部に疼痛・腫脹あり。受診しレントゲン撮影にて右上腕部頸部骨折と診断され、手術目的にて救急搬送される。	転倒箇所の環境確認（特に転倒誘発物なし） 転倒のリスクが高い方への単独通院に対する注意喚起
4	2012年12月	病室	深夜に声が聞こえ訪室すると、ベッド柵の間に頭が挟まっている状態を発見。体動が激しく車いすにて過ごしていたが、落ち着いていたのでベッド臥床した後生じた。	ベッドサイドレールパッドの購入・設置 事故防止マニュアル作成・周知徹底
5	2013年2月	通所リハ	出入口付近で椅子から転落した利用者を職員が発見。右殿部外側の痛みがあり体動できない状態であったため、外来へ連絡し受診。右大腿骨骨折、第4腰椎陳旧性圧迫骨折と診断され、手術目的にて救急搬送された。	転倒を誘発しない環境整備（背もたれ付ソファへ変更） 職員による見守り強化 目の行き届く場所での休憩促し